

子ども議会だより

■発行 御杖村教育委員会事務局

■連絡先 ☎0745-95-2004

■U R L <https://www.vill.mitsue.nara.jp/index.html>



広報みつえ

特別号



村の明日、
私たちの未来を話し合う

令和元年7月12日(金)に開催された子ども議会

御杖中学校2年生を議員として、子ども議会が開催されました。子どもたちの真剣な眼差しと、気持ちのこもった質問から、御杖村への思いが感じられる議会となりました。

子ども議会とは

子ども議会は、子ども達が村議会の模擬体験を通じて、村の将来や現状の課題について自主的に考え意見を表明することにより、地域の一員としての自覚と、村づくりに参加する意識を育むとともに、村議会や行政に対する関心と理解を深めることを目的として開催されました。

子ども達は、社会科の授業や事前学習、話し合いを通じて本番に向けて準備を進めてきました。

当日は、子ども議員の質問や提言に、村長及び教育長が答える形式で行われました。

※4ページから子ども議員の質問と村長・教育長の答えを紹介します。

◎子ども議会を開催して(教育長よりひとこと)

この度、御杖中学校子ども議会が、盛大にかつ厳粛に開催されますことに、皆さま方とともに、お慶びを申し上げます。昨年度に引き続き、今回が二回目となりますが、子ども議会開催にあたり、ご理解・ご協力をいただきました。御杖村議会、御杖村、そして御杖中学校の皆さま方に感謝とお礼を申し上げます。

さて、学校では社会科の公民の分野で、地方議会について学んでいることと思います。子ども議会では、御杖中学校2年生の皆さんが子ども議員として議会を体験し、自分たちのふるさと御杖村の現在そして、未来を自ら考え、その思いを一般質問として意見を述べることに、より、村の一員としての自覚と、むらづくりに対し積極的に参加する意識を育む機会になることを期待しています。この体験をきっかけに、村の



仕事や議会の活動、政治に対する興味や関心を深めていただき、将来、御杖村の発展のため力となつていただこう願います。私の挨拶とさせていただきます。



◎政策方針説明(村長より説明)
子ども議会を開会するにあたりまして、本年度の政策方針をご説明申し上げます。
本年度は、皆さまご承知のとおり、四月三十日、五月一日に皇位の継承があり、元号が新しく平成から令和に変わり心新たにしているところです。
こうした中、本村が抱かえる急激な人口減少や少子・高齢化時代にいかに向かい、御杖村が将来に生き残るため策定した、「御杖村まち・ひと・しごと創生総合戦略」が今年最終年となります。来年度から本村十ヶ年間の地域づくりの方針や計画を定める次期長期総

合計画との整合性を図りながら、次期「総合戦略」の策定に取り組みます。

令和元年度の一般会計の予算規模は、二十二億千三百万円で、一般会計及び特別会計を合わせて、三十一億六千二百四十八万円となり、前年度当初予算と比較して2.1%の減少となっております。

令和元年度の主要施策につき簡潔にご説明申し上げます。
まず第一番目は「みつえの魅力あふれる産業の振興」についてであります。本村の農林業は高齢化や後継者不足により、離農する農家も増えており、農林業生産額が減少を続けています。

これらの問題を解決するため、今年度から、米の直接支払交付金制度の新設や、認定農業者への加算交付金制度の新設などを行い、従来のほうれん草栽培農家へも継続して支援を

行っていくとともに、新規就農する地域おこし協力隊にも、重要な農業後継者として、初期投資に必要な支援を手厚く行っていきます。

林業分野についても、後継者問題は深刻で、地域おこし協力隊制度を活用し、小型の重機等で伐りだせる自伐型林業について、募集を行っていきます。
本村の面積の九割を占める森林資源の活用のため、タイへの木材輸出を目指し事業展開を行うとともに、本村木材を利用したキャビン向け建築資材の販売や木製加工品の商品開発・販売など、総合的に事業展開する地域商社の立ち上げに取り組んでいきます。

観光振興については、村の魅力の発信と知名度の向上を目指し、本村の重要な観光資源の一つである三峰山を見渡せる神末中村にライブカメラを設置し、ホームページ上で発信します。
また、みつえ温泉について

は、村の観光施設への愛着を深めるとともに、村民の健康増進を図るため、四月から村民の入浴料を三百円、中学生以下は無料とし、老若男女多くの村民の方が利用しやすい、憩いの場となる施設にしていきたいと考えています。

第二番目は「みんなが快適に暮らせる生活環境基盤の整備」についてであります。移住・定住対策として進めております空き家情報バンク制度について、改めて村民への登録案内を行うとともに、昨年完成した村営住宅も含め、子育て世代に本村への移住を促すようホームページ等で周知を行ってまいります。

村道整備につきましては、利便性の向上を図るため、引き続き重要路線の改良工事を進めるとともに、年次計画的に村道の舗装補修も進めてまいります。
さらに、こまどりケーブル株式会社が所有するケーブル

テレビ網を現在の同軸ケーブルから光ケーブル網へ更新します。この事業により、災害時における確実かつ安定的な情報伝達が確保され、さらにインターネットサービスも高速通信が可能となり、住民サービスの向上、サテライトオフィス誘致にも期待がふくらむところです。

第三番目は「みつえを次世代につなげるための人づくり」についてであります。小中一貫教育は、九年間の義務教育において教育目標や学習内容の連続したカリキュラムを基に授業を実践することにより、教育効果が高まることが期待されています。小・中学校間で課題を共有して連携を図りながら、これまでの試行として取り組んできましたが、教員間の授業交流や児童生徒間の交流活動をな

お一層促進してまいります。

施設一体型小中一貫校への学校再編につきましては、本年度利用校舎を決定し施設改修

の実施設設計に取りかかり、令和三年九月の統合校舎開校を目指します。

また、国際社会に対応し、外国語のコミュニケーション能力の向上を図るため、小・中学生を対象に、放課後や休日に入材育成塾を運営しています。

第四番目は「いつまでもいきいきと暮らせる福祉の村の実現」についてであります。村民の健康を守る取り組みとして、毎年総合健診を実施しており、その検査結果を受け、結果説明会、特定保健指導を実施し、生活習慣病予防に努めます。

介護保険については、本村は六十五歳以上の高齢化率が56%を超える超高齢化の村であり、介護給付費が大幅に増えている現状から、特に「筋力アップ教室」や「いきいき百歳体操」など、介護予防に重点的に取り組んでいきます。

以上、令和元年度の主要施策の概要の説明とさせていただきます。

56.6%（平成三十一年四月一日現在）となっており、それに伴い、介護認定を受ける人が増加し、さらに介護度が重度化していることが主な原因となっております。

誰もができる限り、住み慣れた家で生活できるようにしていくためには、一人ひとりが健康を保ち、地域のつながりや生きがいをもって生活されることが大切です。

御杖村では、できるだけ健康な体をつくるため、住民全体の健康づくりの啓発に取り組んでいます。健康づくりの基本的な考え方は「自分の健康は自分で守る」ということです。なぜなら介護の原因になる脳卒中や年をとることによる衰弱も日々の生活習慣の積み重ねが大きく影響するからです。

どれくらい自分の体を大切にしているか、それを知ることができるのが、生活習慣病をターゲットにした特定健診です。特定健診を受けたあとは、健診の

結果を基に生活習慣について振り返る機会を作っています。

次に介護予防を目的として、筋力アップ教室やいきいき百歳体操、元気にしとる会、ふれあいお食事会や調理実習、囲碁将棋、生きがいデイサービスなど様々な取組を行っています。しかし、

今が健康であり、充実した時間を過ごしている人ほど積極的に介護予防に努めている傾向があります。そのため、本村では、あまり介護予防に参加されない方への働きかけを行うため、送迎付きのリハビリ事業や元気・思いやりサポーター、民生児童委員、元気にしとる会世話人による声かけを実施しています。その他、ちよつとした困り事に手助けできる生活支援サポーターもおられます。

また今年から広報みつえに健康コラム「野菜のちから」を二ヶ月毎に掲載しています。中学生の皆さんも広報のメニューを見ながら作ってみてください。また夏休みには、広報みつえの保

一般質問

介護保険サービス料の増加について



1番 岸田彩芽

質問

現在の御杖村では、介護保険サービス料の負担が年々増加していています。奈良県の中でも安い方の御杖村ですが、それが年々増加しているというのには何か原因があると思います。その原因の一つとして介護が必要な高齢者が増えているということですが、御杖村では、高齢化が進み一人暮らしの人も施設に入っている人も数多くいます。理想としては施設に入らなくても家で暮らせたり、介護保険サービスを必要としないで元氣

健・福祉センターだよりをご覧になって、地域で行っている介護予防事業に参加してみてください。皆さんが高齢者の方々の活動に思いやりのある関心をもってくれたならば、本当に喜んでいただけるのではないかと思います。

いづれ誰かの世話になる、それも受け止める地域でありつつも、一人ひとりが世代を超えて、積極的に地域のつながりを作っていただけのような啓発を進めるとともに、高齢になっても、介護を受ける側になっても自分ができることで助け合いに参加する、そのような地域づくりをめざして行きたいと考えます。

小中一貫教育について



2番 小奈美南

質問

に暮らせる高齢者が少しでも増えてほしいと思っています。それでは、どうしたら家で生活できる高齢者が少しでも増えるのでしょうか。今の高齢者の人には若い頃の元気・活力を取り戻すのは正直難しいと思います。従って、今の健康を維持することが大切だと思います。その対策としては、村内放送で健康に関する情報を発信したり、広報の中に記事を掲載することが考えられます。そうすることで、高齢者の人には家で健康を意識した生活ができるようになりま

村長答弁

御杖村の介護保険料は、質問にあつたように年々増加しています。本村の高齢化率は、

現在、御杖村では少子高齢化が深刻な問題となっており、子どもの数がとても少なくなっています。そのため、将来は、子どもの数を今よりも増やして、若い人を中心に村を動かし活性化してほしいと思います。子どもが減るのを防ぐには、子育て世代に引越してきてもらうことや、村民が、良い村になるように行動することが大切だと考えます。

そこで、子どもが減っていく中でも、村で子育てしたいと思えるような、特色のある学校にするなどの取り組みが必要で

教育長答弁

御杖村では小中一貫教育を推進するために、今の中学校を改修して施設一体型の小中一貫校を造る計画を進めています。来

年の二学期から改修工事を行い、令和三年度二学期の開校を目指しています。既存施設を大規模に改修しますので、きれいで使い易く最新の設備が整った学校に生まれ変わると思いますが、児童・生徒の皆さんが楽しんで登校し、村民の皆さんにも誇りを持ってもらえる学校にしたいと考えています。

次に教育内容のことですが、皆さんは中一ギャップという言葉を知っていますか？ 小学校を卒業して中学生になると、様々な学校文化の違いにぶつかります。教科担任制、学習スピードや学習量の違い、中間や期末のテスト、部活動、自主的な活動など小学校とはかなり違ったと思います。その違いで戸惑ったり、勉強が嫌いになったりする生徒も多くいます。そういった「ギャップ」すなわち段差を少しでも小さくしたいと思っています。スムーズに中学校生活になじんでもらうためにも、小中一貫校はとても良い制

度だと思えます。また、小学校の先生と中学校の先生が、同じ学校で指導に当たってくれます。中学生になっても、小さいときからの姿をよく知っている先生がずっと身近にいてくれます。とても安心できることだと思います。

小学校の高学年では、中学校の先生に勉強を教えてもらうことも増えてきます。専門的な知識を持った先生に教えてもらうことで、学力も向上すると思います。今年もすでに六年生の英語や図工の授業を中学校の先生に教えてもらっています。校舎が一つになればそういった授業が増えたり、小・中学生で一緒に発表会が増えたりもします。小学生が教えてもらうだけでなく、中学生が小学生に学ぶことも多くなると思います。お互いの良いところを吸収し合って、成長していつか欲しいと願っています。

村の人たちも小学校と中学校が一つになれば、協力する力が

いくために、村としてどのような取り組みをお考えですか。

村長答弁

ご質問のありました、御杖の自然を良くするための村の取り組みについて説明させていただきます。

言われますように、村の川は毎年ホタルがたくさん飛び交うきれいな川で、今年も六月二十一日と二十二日の二日間、第十五回御杖村蛍観賞会が行われ、たくさんの方が初夏の夕べを幻想的に彩るホタルの光を求め訪れて下さいました。

村では、このようなきれいな川の水质を保つために、平成三年から村内に合併処理浄化槽を設置する方に補助金の交付を行っています。これは、家庭から排出される台所や風呂等の生活排水を、トイレのし尿と合わせて処理する装置で、家庭からの汚水を微生物の力で浄化して川に放流することができます。しかし、装置の調子が悪くなり環

一つに集中する事ができます。ふるさと学習など多くの面で支えてもらっていますが、今よりもっと大きな力で学校を支えてくれるものと思います。

このように様々な力を一つに合わせなければ、魅力のある学校づくりができると思っています。学校の主役は、児童・生徒の皆さんです。皆さんがすばらしい小中一貫校をつくるんだという意気込みを持って、日々の学習や部活動に励んでくれることを期待しています。

御杖の自然を良くするために

3番 笹谷愛夢

質問

御杖村は自然が豊かで、初夏にはホタルがたくさん見られるほど川がきれいです。

しかし、村内の道路を歩いていると、たまにタバコの吸い殻や空き缶などのゴミが落ちてい

している者に対しては必要な措置を講じることになっていきます。

また、老人クラブ連合会による「一斉社会奉仕活動」をはじめとした各種団体による清掃活動も行っていたいただいています。

その他、質問のありました、道路の草刈りについては、道路の総延長が長いことから年一回ではありますが、計画的にシルバー人材センターに委託し実施しています。材木価格の低迷や林業従事者の不足から、森林所有者自身が管理することができなくなった施設放置林については、森林環境税を活用し毎年平均五十ヘクタールの間伐作業を委託により実施し森林づくりをしています。また、イノシシ・シカなどの獣害対策については、狩猟者で組織する猟友会にお願いしての駆除活動や農業者の共同活動による防除柵の設置等の実施により、被害は減少傾向にあります。

以上、村の施策を説明させていただきます。

ます。

私は、これからも自然いっぱい毎年夏になるとホタルがたくさん飛んでいるような御杖村でいてほしいと思っています。

私達が出来ることは、絶対にゴミをポイ捨てしないことです。

ただ、私達に出来ることには限界があります。例えば、ごみを捨てないように広く伝えるには村の力がどうしても必要です。その他にも路肩に生い茂ったままの雑草や、伐採や手入れをされていない森の木々、さらに悪さをするサルやイノシシ、そしてシカなどの動物の対処にも村の力が必要だと考えます。

御杖村の自然をこれから



いただきましたが、御杖村の自然を良くするためには、一人一人のご理解、ご協力も必要です。笹谷さんが述べられた「これからも自然いっぱい毎年夏になるとホタルがたくさん飛んでいるような御杖村でいてほしい」との思いは我々も同じです。これから五年、十年と月日がたつても、自分の村は自然豊かな美しい村であると誇りをもっていただけけるよう、村としても対策を続けていきたいと考えております。

交通について



4番 谷尾純啓

質問

最近、高齢者の方が運転する自動車の事故が多発し、よくニュースになっています。そのニュースの中で高齢者に免許返

納を促す声が上がっています。しかし、御杖村では買い物をするところがとても少ないので、車は手放せません。

そこで提案があります。

今ある移動販売車を増やしたり、免許を返納した人にタクシーの割引券などを渡す。もしくは、バスの利用を増やしてもらったり、バスの利用方法などを教えて、積極的にバスを使ってもらったら良いと思います。

最後に、車を使わなければどこにも行けない御杖村で高齢者がどうしたら自主的に免許返納をしてくれるようになるか、それについてどうお考えですか。

村長答弁

現在、村内には、村営バスの「御杖ふれあい交通」、また事前予約をすれば、村内個人宅から村内目的地まで行くことができ、デマンド交通、村の一部、神末敷津を通って近鉄名張駅へつないでいる三重交通バスが運行しています。また、近鉄榛原駅へ

は、宇陀市、曾爾村、御杖村が中心となり組織されました宇陀地域公共交通活性化協議会が運営するコミュニティバス「奥宇陀わくわくバス」が曾爾村掛で村営バスを乗り継ぐことができるように運行しています。村外への買い物等を含め、外出時には、ご指摘のとおり車は必需品です。また車の運転免許が無い方が、村外への買い物等に行く場合、これら公共交通を利用することになります。

今後、自主返納を進めるためには、更なる交通環境の整備が必要と考えます。そのためにも、先ほど申し上げました村内、また村外へ運行している公共交通の維持継続を関係機関に働きかけつつ、その利用方法の周知や利用促進について広報する等効果的な方法を進めていきたいと考えております。

さらに、買い物支援対策や移動支援対策の検討を含め、高齢者の方及びそのご家族、保健福祉課と連携をとりながらこの問題にも、小・中学校と協議をしながら、御杖村の森林や木についての学びや林業体験学習を取り入れていくことを検討したいと思っています。

特色のあるイベント



6番 古谷僚基

質問

僕は、この御杖村にコンビニを作ることを提案します。ただコンビニを作るという意見は昨年も出ていて、お金の問題などで作ることが難しいのだと思います。

ただ、現在の御杖村の問題にもなっている少子高齢化は、御杖村だけでなく国の問題にもなっています。御杖村も観光イベントなどを実施しています。そんな大きな問題を解決していくのは、とても厳しいので

題に取り組んでいきたいと思えます。

御杖村の森林学習



5番 仲子遼亮

質問

僕は、御杖の小中学生に継続して林業や御杖村の木について知る時間があれば良いと思います。

御杖村には、木がたくさんありますが、子ども達にとってはあまり、身近ではありません。昔、御杖村は木のおかげですごく発展することが出来ました。僕は、そういうことを御杖村の小中学生に知ってもらい、たくさんある木の利用方法などを考えてもらうきっかけを作らばいいと思います。

村長さんは、御杖村の小中学生に、御杖村の木について知っ

てもらおうという事についてどうお考えですか。

村長答弁

本村の面積は79・58km²であり、そのうち山林が約90%を占めています。大部分は五十年から六十年の伐採期を迎えています。長引く木材不況により林業を取り巻く状況は大変厳しくなっています。

村としましても、森林が持つ公益的機能を今後とも持続的に維持していくためにも、間伐等の施業を進めるとともに、地域資源としての木材の有効活用を図るために木製品の商品開発や販売等に取り組んでいきたいと考えています。こうした取り組みも含めまして、皆さんに御杖村の森林や木について知っていただくことは、大変有意義なことであると思っています。

森林学習という質問でもありますので、教育長からも答弁をさせていただきます。

ます。

村長答弁

御杖村にはコンビニが無いため、以前より地域住民や観光客からの要望がかなりありました。昨年大字別集会でこのことを議題に挙げ四会場で見聞取りを行いました。どの会場からも概ねあれば便利である、又は欲しいとの答えをいただいています。それには、採算性の検討と現在商売を営んでおられる店主との話し合いも必要だと考えています。昨年度早速説明会を開催しました。高齢化が進み、商店が閉店して買い物難民が出ないように取り組まなければいけないと考えています。

ご指摘のとおり、村民の利便性は大変重要で御杖村総合戦略の基本目標四に村内で安心な暮らしを続けることをテーマに掲げています。村政の中心は村民です。村民が安心して暮らせてこそ、外からの移住者があると考えています。総合戦略は策定

しかし、全ての中学生が、御杖村の森林を学び、木を学ぶ取り組みにはなっていないのが現状です。昔の方々が大変ご苦労をされて植林や育林を行ってこられた森林資源を守り、有効に活用して、次世代に引き継いでいくた



村長さんをはじめ
たくさんの方の前で自分の意見
を言えて、答弁も詳しくして
いただき、考えをより
深めることができました。

今の御杖村
の現状について、真剣に考える
ことができました。

今日は、
人生で一回しか
できないような特
別な体験がで
きました。

この子ども議会を通
して御杖村が少しでも発
展して良い村になったら
いいなと思います。

子ども議会を体験して
～子ども議員の感想～



自分の住んでいる村の
ことについて中学生ながらこ
うして話し合える機会がもらえ
て、貴重な体験ができたと思
いました。

子供議会を通して、前よりも
御杖村にいたいという気持
ちが高まりました。

こうした機会を用
意してもらって、私たち
はこの村に必要とされて
いるんだと再確認する
ことができました。



から五年目を迎え、本年度がこ
の先五年の計画策定を行いま
すので、村民の安心な暮らしに
重点を置き策定したいと考えて
います。

生徒の皆さん、一般質問お疲
れ様でした。緊張しましたか？
立派に質問している姿を見させ
てもらっていました。

私も、六月十四日の出前講座
で講師という立場で初めて教壇
に立った時、これから五十分間
もどの様に授業を進めようかと
不安になり、かなり緊張しまし
たが、皆さんの生き生きとした
顔と目を見て話をするうちに楽
しくなってきた、あつという間
の五十分間でチャイムが鳴って
も終わることができず、申し訳
ありませんでした。

本日の質問も全員が村の現状
を良くとらえて問題提起をさ
れ、原稿用紙一枚から二枚で六
百字以内に簡潔明瞭に上手くま
とめて質問されていることが、



私にとっても良い勉強になりま
した。ありがとうございました。

昨年からは始まった子ども議会
ではありますが、これから将来
を担う子どもたちに村のこと
や、自分たち村民にできる活動
の事を考えてもらおう良いきつ
けになると考え、今年もやつて
よかった、これからは是非継続
していきたいと思いました。

最後になりますが、村長はじ
め関係部局の皆さん、ご協力あ
りがとうございました。

子ども議会本番までの取り組み

- 6月11日 村議会6月定例会を見学
- 6月14日 社会科授業(村正副議長の出前講座)
- 6月通して 社会科授業
(世界と日本と御杖村の人口、エネルギー、産業、交通の結びつき)
一般質問を考える
- 7月11日 リハーサル



令和元年度 御杖村子ども議会 議事日程

令和元年7月12日(金) 午前10時00分 開会



- 第1 開会宣言
- 第2 御杖村教育長あいさつ
- 第3 議席の指定
- 第4 議会録署名議員の指名
- 第5 会期の決定
- 第6 行政職員の自己紹介
- 第7 子ども議員の自己紹介
- 第8 村長政策方針説明
- 第9 一般質問
- 第10 村より講評
- 第11 御杖村議会 議長あいさつ
- 第12 閉会宣言

議長	4番	谷尾	純啓
副議長	2番	小奈	美南
議員	1番	岸田	彩芽
議員	3番	笹谷	愛夢
議員	5番	仲子	遼亮
議員	6番	古谷	僚基

午前11時13分 閉会

